

第1回下北地区統合校開設準備委員会における主な意見

1 統合校の目指す人財像・学校像について

【各委員からの意見】

- 意見なし

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 令和6年度に実施した下北地区統合校教育内容等情報交換会における意見を踏まえ、検討を進めてもらいたい。

<参考>

下北地区統合校教育内容等情報交換会における意見

●目指す人財像

- ・ 社会の発展を担う幅広い視野を持ち、課題発見・解決に向けて、主体的・協働的に取り組む人財。
- ・ グローバル社会で通用する視点や能力を有し、国内外に情報発信する能力を備えた人財。
- ・ 多様性を尊重する心やふるさとを愛する心を備え、地域で活躍できる人財。
- ・ 工業分野における専門知識・技術、倫理感を身に付け、新たな価値を創造し、より良い地域を実現しようとする人財。
- ・ 新しい時代を生き抜く起業家精神などの資質・能力を備えた人財。

●目指す学校像

- ・ 地域課題等の解決に向けた実践的な取組により、郷土を愛する心、主体的に課題を発見・解決する力、地域に価値を見出し地域ブランドを確立する力などを育成する学校。
- ・ 産学官協働による実践的な学びにより、工業分野における専門知識・技術、倫理感や、未知の領域へ果敢に挑戦し、新たな価値を見出す力を育成する学校。
- ・ 学科・系列の横断的な学びの充実により、多様性を尊重する心、コミュニケーション能力、マーケティングに関する知識、情報収集及び処理能力を育成する学校。
- ・アントレプレナーシップ教育の充実により、起業家精神などの資質・能力を育成する学校。
- ・ キャリア教育の充実により、小学校・中学校・高校の継続的なキャリア教育の拠点となる学校。
- ・ 関係校の強みを組み合わせた学校。
- ・ 自身の資質向上を図りながら、協力し合い、物事を成し遂げられる力を身に付けることができる学校。
- ・ ICTの活用等により、地域性を越えた学びを実現する学校。

2 校名案の決定方法について

【各委員からの意見】

- 入学する生徒の手助けをしたいという理由から、委員が校名案を出すB案が良い。
- 下北の人に限るのであればA案も考えられるが、現実的には難しいためB案が良い。
- その他の案として、在校生からクラスごとに校名案を出してもらい、又は、A案で公募した後在校生の意見を踏まえて委員が絞り込むという方法も考えられる。
- A案が良い。
- 広く意見を聴取してから、この場で検討すれば良いという理由でA案が良い。
- A案では、様々な案が出され収拾がつかなくなるのではないかと。より地元で理解がある意見をまとめられるということでB案が良い。
- 委員の方々は過去の歴史や経緯、土地のこともよく分かっているので、思いを含めた校名案が出てくるのではないかと。ということでB案が良い。
- 委員の方々が周りから聞いた意見を述べて、本委員会で絞り込んでいくほうが良いということでB案が良い。
- B案が良い。
- 同窓会やPTAの会長、校長先生それぞれの組織等の意見を拾っていくためには、B案の方が良いのではないかと。
- 地域の学校なので、在校生やこれから入学する中学生も含め、地域の方々に募集し、そこで出てきたものを委員で決めるということでA案が良い。
- 地域のこと、学校の歴史等を知っている委員ばかりであるため、B案が良い。
- これから入学する子どもたちも応募できるとなれば、新しい学校をより好きになってもらえるということで、A案でも良い。また、県教育委員会のホームページだけでなく、いろいろな周知方法を検討し公募すれば良い。
- 各団体の長などが委員となっていることから、その団体の会議などで意見を募集し、それを本委員会で出すというほうが、方法としては順当ではないかと。
- 県教育委員会のホームページで公募しつつ、委員から校名案を出してもらおうというA案とB案をミックスした形はどうか。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 校名案の検討については、各団体から挙げてもらうなどできるだけ広い範囲の意見を集約させることも含め、B案（事後意見照会方式）を進める。

<参考>

- ・ A案（事前公募方式）は、開設準備委員会で校名案を検討する前に、県教育委員会ホームページ等で校名案候補を公募し、その中から開設準備委員会で校名案を絞り込むもの。
- ・ B案（事後意見照会方式）は、開設準備委員会委員から校名案候補を提示していただいた後に、県教育委員会ホームページ等で当該校名案候補について意見照会し、その結果を踏まえて開設準備委員会で校名案を絞り込むもの。

3 制服の方向性について

【各委員からの意見】

- こどもや地域など様々な方の声を聞きながら新たに制服を制定してほしい。
- 他地区の生徒にも入学してもらえらるような、着てみたいと思えるような新たな制服を作ってほしい。
- 新たに制服を作った方が良い。保護者の意見も重視してほしい。
- 制服の価格も大事な論点だと思う。
- 女子生徒のスラックスも選択肢としてあった方が良い。
- 私服も良い。
- 保護者の経済的な負担等を考慮して、制服はあったほうが良いと考える。
- 普段の生活等を考えたときに、制服はあったほうが良いと思う。
- 各校から代表を集めて話し合いをする組織を作り、そこでベースとなる部分を作りながら、本委員会で報告しつつ進めるという流れはどうか。
- デザインを新たにする場合でも、引き継ぐ場合でも、例えば校章が新しくなれば、多少のデザインの違いは出てくると思う。よって、新たなデザインとするという方向性で良いのではないか。その中で、多少のデザインの引継ぎということも検討すれば良い。
- 新しい学校になることを印象づけるためにも、新たなデザインにする方が良いのではないか。ワーキンググループの中で話をして両校の伝統を尊重していければ良いと思う。

(意見等記入票における意見)

- 生徒の意見を尊重してほしい。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 両校の教職員等によるワーキンググループによって、新たな制服を制定する方向で、業者の選定、デザイン等の検討を進めてもらいたい。また、デザイン等の検討などに当たっては、可能な限りこどもたちの意見を取り入れるように工夫してもらいたい。